

『三洋商事賞』受賞の小学生を東京本社に招待 エコな創作ことわざコンクール「エコとわざ」 個別表彰式 普段は見られない現場も特別公開 環境意識の醸成に寄与 11 月 9 日

産業廃棄物の処理・リサイクル事業を手掛ける三洋商事株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役：河原林 令典^{かわらばやし よしのり}）は、第 12 回「エコとわざ」コンクールにて『三洋商事賞』を受賞した鈴木美緒さん（小学 3 年生）を招待し、2021 年 11 月 9 日（火）、東京本社にて個別表彰式を執りおこないました。

■全体の表彰式は中止のため個別表彰式を実施 普段は見られない現場の見学も



「エコとわざ」において『三洋商事賞』に輝いた鈴木美緒さん（右から 2 番目）



“手サイクル”（手作業）で分別された素材など現場を見学

当社が審査に参加した、第 12 回「エコとわざ」コンクールは、環境省から環境先進企業として認定を受けた「エコ・ファースト企業」による自主運営組織「エコ・ファースト推進協議会（2009 年 12 月 9 日設立、加盟 50 社）が環境省の後援、全国小中学校環境教育研究会の協力を得て、本年 6 月 5 日から 9 月 5 日まで、全国の小・中学生から創作ことわざ「エコとわざ」を募集し、10 月 12 日には受賞作品 30 作を発表しました。本来なら 12 月に本コンクール全体の表彰式を開催する予定でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止となりました。

当社は、産業廃棄物処理業として初めて「エコ・ファースト企業」に認定され、本コンクールの審査に参加しました。厳正な審査のもと、作品と作品に対する想いを評価し、東京学芸大学附属竹早小学校 3 年生の鈴木美緒さんの作品、『「捨てる」、を知らない時代へ。』を、選出担当者全員の意見が一致したかたちで、加盟企業賞『三洋商事賞』に決定しました。

当社は、情報機器類の産業廃棄物を手作業で分別することで、少しでも燃やさない、埋めないことでゼロエミッション（ごみのない世界）を目指しており、今問題となっているマイクロプラスチックや海のごみ問題から“捨てる”という考えや言葉のない世界、リサイクルが当たり前となる未来に向けて、作品と同じ思いで事業を手掛けています。当作品に込められた、「いつの日か辞書から“捨てる”という言葉がなく

なるようにしたい」という素敵な想いに心を惹かれたこと、廃棄物のリサイクル業をおこなう当社も明るい未来に向け日々同じ想いで活動していることを、ぜひ受賞者本人に直接伝えたいと考え、個別表彰式の開催に至りました。

授賞式当日は、賞状と副賞の授与の後、当社の会社説明と普段は見られない現場を特別に公開し、リサイクル率 98%を誇る当社の“手サイクル”（手作業で分別する）の現場や、きれいに分別された素材などを見学してもらいました。特に昨今のコロナ禍でしばらく現場見学を見合わせていたため、めったに経験できない機会であったことから、環境意識の醸成にも寄与した表彰式になったと考えています。

【個別表彰式 概要】

日時 : 2021 年 11 月 9 日（火）14:00～

場所 : 東京本社内

東京都江戸川区東葛西 3 丁目 17 番 41 号

受賞作品 : 【三洋商事賞】「捨てる」、を知らない時代へ。

受賞者 : 東京学芸大学附属竹早小学校 3 年生 鈴木美緒 さん

実施内容 : 表彰式（賞状・副賞の授与）、記念撮影、会社説明、現場見学



「地球環境・未来創造部」部長石田より授与

■ 無料授業「SDGs スクール」にリニューアルし実施拡大中 職業選択にも一役



コロナ禍でリニューアルした『SDGs スクール』の実施が拡大中

当社は、「地球にありがとうを伝える企業」という経営理念のもと、ごみ問題やリサイクルに関して学ぶ無料授業「エコ・スクール」を 2009 年度から実施し、主に小学 4 年生を対象に 80 回以上実施してきました。この「エコ・スクール」は、工場見学や携帯電話を解体するリサイクル体験を中心におこなっていましたが、コロナ禍の影響で実体験型のコンテンツ提供が難しくなりました。

そこで、SDGs の観念を加えてバージョンアップ

した座学プログラム「SDGs スクール」として、本年リニューアルしました。「SDGs スクール」は、オンライン授業にも対応できることから、全国の小・中・高校（大学も相談によって可）で実施可能となり、活動範囲を拡大しています。11 月 29 日には、阪南大学（大阪府松原市）での講演を予定しています。

当社が提供する「SDGs スクール」を担当する社員は、昨年新設した全国でも珍しい SDGs 推進部署である「地球環境・未来創造部」の初代部長石田公希（いしだまさき）26 歳です。石田はこの授業の中で、当社が手掛ける産業廃棄物中間処理業の事業内容や当社の社会貢献活動、経営理念などを通じて、SDGs や環境問題など社会的課題についての問題提起や生徒が自発的に考え当事者意識を高めるきっかけを創出しています。また、石田は生徒と年齢が近いことから、生徒がこれから直面する進路や職業選択の参考になったり、将来への不安に対して勇気を与えたりできる内容も加えています。

石田は、「地球環境・未来創造部」創設のいきさつや、現職に就いた経緯、環境問題に興味を持ち始めた中学時代など幅広くフランクに語ることで、環境問題への興味を深めるだけにとどまらず、普段接することが少ない“社会人”との交流から、将来の夢や職業、生きることについて考える機会も創出したいと考えています。



「地球環境・未来創造部」初代部長 石田公希

当社はこれからも、気候変動やごみ問題に対する正しい知識・関心を身につけ、環境問題や社会課題に興味を持つ機会の提供を通じて、リサイクル事業が担う持続可能な社会づくりに貢献し、たったひとつの故郷である地球に“ありがとう”を伝えていけるよう、地球環境保全の一助となる活動を継続します。

【会社概要】

社名 : 三洋商事株式会社
代表 : 代表取締役 河原林 令典（かわらばやし よしのり）
本社所在地 : 東京都江戸川区東葛西 3 丁目 17 番 41 号
TEL : 03-6808-2171
URL : <https://sanyo-syoji.co.jp/>
設立 : 1957 年（昭和 32 年）3 月 18 日
資本金 : 9,000 万円
従業員数 : 255 名（正社員 180 名、パート 75 名）令和 3 年 7 月 5 日現在
事業内容 : 通信機器・交換機・コンピューター類のリサイクル、産業廃棄物の収集運搬及び処理、製鋼原料および非鉄原料の売買、貴金属類・地金回収販売、建設物及び工作物の解体・移設、中古機器器具の売買

公式 SNS アカウント : インスタグラム https://www.instagram.com/sanyo_mirai
ツイッター https://twitter.com/sanyo_mirai

＜三洋商事について＞

当社は 1957 年の会社設立以降、60 年以上にわたってリサイクル（廃棄物処理）サービスを展開しています。廃棄物を出さないゼロエミッション型企業を目指し、通信機器やコンピューター類の分解はすべて手作業（手サイクル）でおこなうことで、リサイクル率 98%を実現しています。

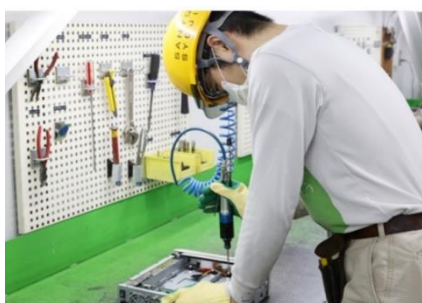
2008 年には「手サイクル」の取り組みが評価され、産業廃棄物業として初めて『エコ・ファースト企業』に認定され、2014 年には『エコ・ファースト 環境メッセージ EXPO2014』において環境大臣賞を受賞しました。

また、昨年 5 月には全国でも珍しい SDGs 推進専門部署となる「地球環境・未来創造部」を立ち上げ、現在 3 名の社員が SDGs 活動の強化（環境教育活動、CSR、労働安全衛生・人権、雇用創出、品質、取引先への配慮など）に従事しています。

当社は今後も、地球環境保全推進に向けて、「燃やさない、埋めない」リサイクルシステムや産業廃棄物の破砕・分別技術の向上を図り、循環型社会の一翼を担っていきます。



23 区唯一の自然島“妙見島”にある東京本社



「手サイクル」の様子



産業廃棄物処理業として初めて
エコ・ファースト企業に認定
（全国でも 50 社のみ）

本件に関するお問い合わせ先
三洋商事広報事務局 担当：福土（ふくと）
MOBILE : 080-6538-6292
電話 : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788
E-mail : pr@netamoto.co.jp